

とう きょう なま きょう
東京生協ニュース

東京地区生コンクリート協同組合
〒103-0027東京都中央区日本橋3丁目2番5号
電話番号 (03) 3271-2181
URL: <https://www.t-namakyo.jp/>
発行責任者 高 村 尚

＝協組の動き＝

(10月)
13日(火) 理事会(No. 1268)
26日(月) 理事会(No. 1269)

(11月)
9日(月) 理事会(No. 1270)
24日(火) 理事会(No. 1271)

2027年 賀詞交歓会
日時：1月5日(火)
11時～
場所：第一ホテル東京

東京協組創立50周年
記念式典・祝賀会
日にち：3月29日(月)
式典 15時～(予定)
祝賀会 17時～(予定)
場所：第一ホテル東京

【理事交代】9月28日付

	氏名	組合員名
就任	加藤 清志	東京トヤマコンクリート(株)
退任	佐藤 敬治	東京トヤマコンクリート(株)

配合計画書・納入書 電子化WGの発足について

国土交通省では、建設生産システム全体の生産性向上を図り魅力ある建設現場を目指す取組として、i-Constructionを推進しています。その活動の中で(一社)日本建設業連合会から、生コンクリートの納入伝票などを電子化する「生コン情報の電子化」の提案が取り上げられ、現在、国土交通省直轄工事で試行しながら本格運用に向けた検討がなされています。当協組にも、全国生コンクリート工業組合・協同組合連合会(以下、全生連と略記)を通して依頼があり協力してまいりましたが、施工者目線のシステムで、生コン工場の作業改善には繋がりにくいものでした。この様な動きが進む中で、様々な建設会社から当協組へのシステム作成要望が高まり、生コン業界としても人手不足などから働き方改革の要求が高まったことを受け、ワーキンググループ(以下、WGと略記)を発足することにいたしました。

電子化に取り組む対象としては、生コンクリートの基本規格である JIS A 5308 に記載されている中の、レディーミクストコンクリート配合計画書と納入書を対象としました。検討方針としては、WGのメンバーには、工場で実際に配合計画書の作成実務を担当されている方などを中心に集め、実際の作業の中で苦勞している所や改善したいポイントを確認し、まずは生コン工場と登録販売店の労力削減を大前提にシステム化を図り、その上で生コンクリー

トのユーザーである建設現場で使用されるシステムと連携させる事を考えています。現時点でのWGメンバーは、組合員工場の実務者から9名、外部からは全生連、東京都生コンクリート工業組合、パシフィックシステム社から参加して頂いています。この他に、将来的には登録販売店などから参加して頂くことも検討して行きたいと考えています。WGの活動期間としては、現状、2～3年程度を想定しています。

9月17日に、第1回目のWGを開催いたしました。都合がつかずに欠席された方もいらっしゃいましたが、オブザーバーを含めて26名の方に出席頂きました。須田営業本部長の挨拶で本WGの目的・方針などの説明を頂いた後、配合計画書・納入書の作業の中で苦勞している所や改善点について意見交換を行いました。その中で、配合計画書そのものだけでなく配合計画書作成依頼書までシステム化する意見が出て、これを検討することが決まりました。

これから活動を進めていきますのでご意見やご提案などがございましたら技術部までご連絡ください。



今月のなまりんちゃんは案山子(かかし)

海に浮かぶ廃墟

西森 幸夫

「海に浮かぶ巨大な廃墟」と言えば、そう軍艦島です。戦艦「土佐」にそのシルエットが似ていることから、こう呼ばれています。長崎港の沖合にある小さな海底炭鉱の島で正式名称は端島(はしま)といい、1890年に三菱社が旧鍋島藩主から買収し、炭鉱開発が本格化しました。良質な石炭を産出し、近代日本のエネルギー供給を支えるとともに採掘と居住区の拡大に伴い島そのものが炭鉱都市となっていました。その後、石油への燃料転換の波を受け1974年に閉山、無人島となり、建物群が急速に老朽化していきました。

私は2017年12月に業界の方と長崎を訪れ、初めての挑戦で上陸することができました。中々ラッキーなことのようです。40分程度の乗船中島に近づくにつれ全島がコンクリート建築で埋まる姿は正に軍艦島と形容するのに相応しいと実感しました。



上陸後の見学において、高層のコンクリート建築物が朽ちていく姿の圧倒的な迫力と往時の暮らしの痕跡が色濃く残る姿に深く感銘を受けました。

2024年に軍艦島の炭鉱を描いた「海に眠るダイヤモンド」というドラマが放映されましたが、スマホに残した軍艦島の写真を周囲に見せて自慢したりしていました。2025年12月に夫婦で長崎を旅行することになり、これまた幸運にも軍艦島上陸を果たすことができました。8年を経過した建築物はさらに老朽化が進行していました。海水が建築物に浸透し、内部の鉄筋が錆びて膨張している様子が肉眼でも確認でき、前はあった建物の床が抜けているものもあり「崩れ行くものの美しさ」を感じることができました。

現在は長崎市が完全な復元ではなく廃墟としての保存を基本方針に護岸や主要構造物の補強・保存に努めているそうです。

是非とも生コンクリート業界の方々は軍艦島を訪れて頂きたいと思います。鉄筋コンクリート造の構造物が老朽化していくプロセスを感じることができます。

(城北小野田レミコン(株))

取締役相談役)

(出荷数量)				(引合、成約、契残)			
9月(実績)			10月(月初想定)		9月(実績)		
前年比			前年実績比		前年比		
大型	170,113 m ³	109.0%	190,000 m ³	110.7%	引合	113,729 m ³	95.8%
小型	23,614 m ³	101.9%	25,000 m ³	106.0%	成約	100,044 m ³	108.6%
計	193,727 m ³	108.0%	215,000 m ³	110.1%	契残	3,720,077 m ³	96.3%

2026年度上期 周辺協組出荷実績

	東京		東 関 東		三 多 摩		玉 川		神 奈 川		埼 中		千 葉 西		千 葉 中		千 葉 北		合 計	
	実 績 (㎡)	前年 比 (%)	実 績 (㎡)	前年 比 (%)	実 績 (㎡)	前年 比 (%)	実 績 (㎡)	前年 比 (%)	実 績 (㎡)	前年 比 (%)	実 績 (㎡)	前年 比 (%)	実 績 (㎡)	前年 比 (%)	実 績 (㎡)	前年 比 (%)	実 績 (㎡)	前年 比 (%)	実 績 (㎡)	前年 比 (%)
4月	189,248	93.9	28,490	100.1	66,225	115.2	44,960	88.3	74,846	90.9	93,121	79.1	50,111	122.5	25,283	64.1	12,133	42.9	584,416	90.3
5月	176,432	93.8	20,366	72.3	56,523	100.2	44,522	94.8	60,659	78.5	76,311	67.1	44,896	97.3	20,078	68.0	12,371	59.3	512,157	84.4
6月	211,792	112.8	31,120	107.1	81,594	132.9	54,537	115.5	65,451	73.2	101,344	83.4	57,254	137.0	25,346	72.9	14,376	56.2	642,813	100.7
7月	214,871	108.2	32,364	87.2	81,276	137.8	58,451	106.8	69,747	68.1	103,903	91.1	50,218	103.7	26,280	67.6	14,984	45.7	652,094	95.1
8月	160,340	109.7	18,730	60.0	55,911	128.7	36,882	86.1	51,449	76.4	79,810	97.3	32,416	92.0	17,692	59.3	13,755	63.0	466,984	93.4
9月	193,727	108.0	26,709	81.1	64,886	118.3	38,496	77.0	57,593	67.7	92,344	103.2	41,746	88.4	21,609	60.9	15,418	57.3	552,529	91.9
上期計	1,146,409	104.1	157,778	84.4	406,415	122.2	277,848	94.9	379,745	75.4	546,833	85.6	276,641	106.5	136,288	65.5	83,037	53.2	3,410,994	92.7

2026年度 年末年始休業日一覧

月 日	12月							1月							月 日	12月							1月										
	26 土	27 日	28 月	29 火	30 水	31 木	1 金	2 土	3 日	4 月	5 火	6 水	7 木	8 金		9 土	26 土	27 日	28 月	29 火	30 水	31 木	1 金	2 土	3 日	4 月	5 火	6 水	7 木	8 金	9 土		
工 場 名																																	
植木生コン	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×			×	桐生レミコン	×	×			×	×	×	×	×	×	×			×			
城北小野田レミコン	×	×			×	×	×	×	×	×					×	内山アドバンス 城南	×	×			×	×	×	×	×	×				×			
豊川興業	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×				×	関東宇部コンクリート工業 大井	×	×			×	×	×	×	×	×	×			×			
横山産業 川口	×	×			×	×	×	×	×	×					×	東京湾岸産業	×	×			×	×	×	×	×	×	×			×			
関東コンクリート	×	×			×	×	×	×	×	×					×	宮松エスオーシー りんかい	×	×			×	×	×	×	×	×	×			×			
八洲コンクリート	×	×			×	×	×	×	×	×	×				×	川崎徳山生コンクリート	×	×			×	×	×	×	×	×	×			×			
内山アドバンス 草加	×	×			×	×	×	×	×	×					×	カナリョウ	設備更新の為、令和8年12/26～令和9年1/17まで休転																
柳下生コン	×	×		×	×	×	×	×	×	×					×	第一コンクリート	×	×			×	×	×	×	×	×				×			
横山産業 大和	×	×			×	×	×	×	×	×					×	川崎宇部生コンクリート	設備更新の為、令和8年12/26～令和9年1/17まで休転																
芹澤建材	×	×			×	×	×	×	×	×	×				×	川崎内山アドバンス	×	×			×	×	×	×	×	×				×			
東京コンクリート 久留米	×	×			×	×	×	×	×	×					×	神奈川秩父レミコン	設備更新の為、令和8年12/21～令和9年1/5まで休転																
三多摩アサノコンクリート	設備更新の為、令和8年12/26～令和9年1/12まで休転															溝口瀬谷レミコン	×	×			×	×	×	×	×	×	×	×				×	
央戸コンクリート工業	×	×			×	×	×	×	×	×					×	多 摩	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×				×		
むさしの生コン	設備更新の為、令和8年12/26～令和9年1/12まで休転															大 角	×	×			×	×	×	×	×	×	×	×	×				×
武蔵菱光コンクリート	×	×			×	×	×	×	×	×					×	関東宇部コンクリート工業 溝の口	設備更新の為、令和8年12/25～令和9年1/17まで休転																
内山コンクリート工業	×	×			×	×	×	×	×	×					×	宮松エスオーシー 川崎	×	×			×	×	×	×	×	×	×				×		
東京菱光コンクリート	×	×			×	×	×	×	×	×					×	日本強力コンクリート工業	×	×			×	×	×	×	×	×					×		
東京エスオーシー 芝浦	設備更新の為、令和8年4/25～令和9年8/31まで休転															東京トクヤマコンクリート	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×				×	
関東宇部コンクリート工業 品川	×	×			×	×	×	×	×	×	×				×	関東宇部コンクリート工業 豊洲	×	×			×	×	×	×	×	×	×				×		
青木コンクリート	×	×			×	×	×	×	×	×					×	吉田建材 若洲	×	×			×	×	×	×	×	×					×		
河島コンクリート工業	×	×			×	×	×	×	×						×	吉建エスオーシー 新砂	×	×			×	×	×	×	×	×					×		
鈴木コンクリート工業	×	×			×	×	×	×	×	×	×				×	上陽レミコン 東京	×	×			×	×	×	×	×	×					×		
大巧コンクリート	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×				×	東京コンクリート 砂町	×	×			×	×	×	×	×	×					×		
トウザキ	×	×			×	×	×	×	×	×	×				×	東京エスオーシー 業平橋	設備更新の為、令和8年4/25～令和9年8/31まで休転																
																内山アドバンス 第二	×	×			×	×	×	×	×	×					×		
																内山アドバンス 第一	×	×			×	×	×	×	×	×					×		
																関東宇部コンクリート工業 浦安	×	×			×	×	×	×	×	×					×		
協組事務局	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×					×	市川菱光	×	×			×	×	×	×	×	×	×				×		
																東京エスオーシー 市川	×	×			×	×	×	×	×	×	×				×		
																船橋レミコン	×	×			×	×	×	×	×	×	×				×		
																日立コンクリート 新砂	×	×			×	×	×	×	×	×					×		
																松戸生コンクリート	×	×			×	×	×	×	×	×	×				×		

わが社のじまん話

本題原稿の執筆依頼を受け、社内でテーマを募りましたが、複数回にわたる合併会社ということもあり、取立てて思い浮かばず、以前にも投稿した「安全」に関する諸活動のうち、トピックスに類することを幾つか紹介します。

①転倒リスク計測装置での評価

厚生労働省がプロジェクトを実施しているように、「転倒」は労働災害の発生要因でかなりの割合を占めています。労働者の高齢化が進む中では今後更なる増加が危惧されます。

その防止策の一環として本年実施したのが、横浜国立大学発のベンチャー企業であるUNTRAC KED株式会社が開発した「St A2BLE®」(特許第6534010号、ほか)による社員個々の転倒リスク数値化評価です。これは、1分程度の計測で本人の「身体機能」と「感覚機能」を測定し、「実年齢」と「立位年齢®」との差異を算出、また、5段階でリスクを評価するものです。

この結果を本人はもとより、職場単位での統計結果も社内公表し、今後の安全意識高揚の一助としています。

②昇降時の動画スロー再生

生コン製造業において、ミキサー車のシュート部や運転席からの転落災害はいまだに後を立たず、その度に「三点支持の徹底」が叫ばれます。

しかしながら、同じような災害が繰り返される要因に「三点支持は想像よりも難しい」「車両の構造は画一であるが、運転手個々の体

第一コンクリート株式会社

格や体力(特に腕力や握力)には個人差がある」ことが挙げられます。

そこで、運転手全員を対象に昇降時の動画を撮影し、本人立会で再生することにより、「三点支持が常時確実に出来ているか」を確認しています。本人は実行しているつもりでも、スロー再生すれば、ほぼ同じ位置で出来ていないケースが意外と散見されます。ここでポイントとなるのは、数ヶ所あるステップや手すりに、1、2、3、…といった通し番号を付し、各々出来ていない箇所を具体的に番号で特定することにより、本人が納得の上で、その番号と今後の取組み目標を控室に掲示しています。

③中央労働災害防止協会「安全行動調査」の有効活用

ご存知かと思いますが、中災防による安全支援業務の一つに「安全行動調査」があります。

これは、マークシート方式により、78項目の設問に回答することにより、回答者個々の「エラー傾向」や「パーソナリティ傾向」が診断されます。当社では、結果を本人にフィードバックするだけでなく、指摘された傾向を踏まえ、翌年1年間の「安全行動宣言」を工場社員がそれぞれ策定し、職場に掲示しています。

以上幾つか紹介しましたが、労働災害の大半は「不安全行動」に起因することを鑑み、『「安全第一で無災害」がわが社のじまん』と公言できるよう様々な取組みを今後も展開していきます。